

**【報告事項】**  
**第71回沖縄県振興審議会について**

1. 第71回沖縄県振興審議会議事等
2. (参考資料) 沖縄県振興審議会の審議状況 **【審議会資料5】**

令和3年11月12日

沖縄県商工労働部 産業政策課

第71回沖縄県振興審議会

日時：令和3年10月29日（金）10:00～12:00

場所：沖縄ハーバービューホテル 彩海の間（オンライン参加、会場参加）

議事等

No.	意見概要	委員名
1	横断的に議論すべき内容も多々あるため、規定を設けた上で、関係する各部会の正副部会長が集まって横断的に議論する場や機会をつくってはどうか。	大城郁寛 総合部会長
2	振興計画の目標を達成するには、いかに計画を実施するかが重要であるため、実施計画も同時に検討してもらいたい。	嘉数啓 離島過疎地域振興部会長
3	国、県、自治体、県民の役割分担が明確でない。	嘉数啓 離島過疎地域振興部会長
4	次の次の計画から、市町村がつくる総合計画を基に国と県が支援する計画にしてはどうか。	嘉数啓 離島過疎地域振興部会長
5	国は令和12年までに温室効果ガスを46%削減するという大きな目標を掲げているが、沖縄の場合は様々な社会的な実情もあるので、目標値をどう設定するか課題である。環境部会の中で議論できることでもないため、色々な部会との調整を図りながら議論していきたい。	宮城邦治 環境部会長
6	世界から選ばれる観光地形成を目指すのであれば、那覇空港を世界水準にとどまらず、OISTのような「世界最高水準」の国際リゾートビジネス空港を目指すべきではないか。	石嶺伝一郎 副会長
7	展望値をできるだけ早く示していただきたい。	石嶺伝一郎 副会長
8	東海岸地域については、しっかりとした方向性が特出しで示されているが、西海岸地域については、その記載が弱い感じがある。特に、キャンプキンザーから那覇港、那覇軍港、そして那覇空港に至る一帯はポテンシャルの高い地域であるため、この地域一帯の整備について重点的に記載することも検討してはどうか。	石嶺伝一郎 副会長
9	新たな振興計画の実効性や推進力は、沖縄振興予算であり、また高率補助、振興税制、沖縄公庫などの制度である。県は、これらの推進力の確保に向けて全力で取り組んでいただきたい。	石嶺伝一郎 副会長
10	農林水産業の振興発展に様々な工夫を凝らして経済の活性化、雇用の維持拡大を目指すべきではないか。 令和2年6月に法整備された「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用することで、農林水産業、製造業、建設業、運送業等の異業種相互に経営資源や人材を補完し合いながら各産業の活性化や雇用の維持拡大が可能である。	上里芳弘委員
11	未来を担う若者達を巻き込むことが必要である。例えば、現役高校生や大学生を部会に招いて意見交換してはどうか。	鶴田昌司委員
12	基礎自治体のつくる総合計画を把握して、それを尊重してもらいたい。	桑江朝千夫 市長会会長
13	スポーツコンベンションについて、産業をはじめ、人材育成や地域の活性化につながるよう各部会において多角的な視点での検討をお願いしたい。	桑江朝千夫 市長会会長
14	子どもの貧困対策について、親の就労状況や産業構造、教育力など様々な要素が絡み合い複雑化していることから、各分野において長期的かつ実効性の高い取組を検討していただきたい。	桑江朝千夫 市長会会長
15	脱炭素を念頭に、環境や産業、基盤整備など、様々な分野において県民や民間企業の取組を促進する方向性を検討していただきたい。	桑江朝千夫 市長会会長
16	各市町村の計画、過疎計画、離島振興計画等としっかりと連携、連動する振興計画にしていただきたい。	宮里哲 町村会会長

No.	意見概要	委員名
17	離島地域ではガソリン輸送費の補填により、一般的には都市部並みの金額になるよう支援していただいているが、実態としては、都市部では価格競争があるため、価格が基準より安くなっている。このような実態を理解していただきながら、計画をつくっていただきたい。	宮里哲 町村会会長
18	県がどのような財源確保の考え方をしているか計画に示していく必要がある。	宮里哲 町村会会長
19	補助金の額が低いと市町村財政の圧迫につながる。しっかりと手当していただき、市町村が裏負担を捻出できる環境をつくることで、国や県からの赤字補填の額を減らすことができ、お互いの財政運営にとっていいことだと思う。	宮里哲 町村会会長
20	離島の定住条件の整備について、実施する体制づくりも含めてしっかりとやっていただきたい。	宮里哲 町村会会長
21	国際家事相談について、計画の書きぶりが足りていない。国際家事における相談機能を充実させてほしい。	大城貴代子委員
22	生活に困難を抱えている子どもの貧困だけでなく、ヤングケアラーや生理の貧困などに対する対策を記述していただきたい。また、具体的に事業としてスタートしてほしい。	大城貴代子委員
23	「課題解決先進地」という意見を追記しているが、これからの沖縄全体の問題となり得る課題が離島過疎地域で先行して顕在化している。離島過疎地域に関わる取組は、課題解決先進地として、それに見合うものが必要である。	上妻毅 離島過疎地域振興部会副会長
24	多くの離島過疎地域が直面する問題は、沖縄全体の枠組みでは見落とされてしまう懸念がある。そのため、離島という括りの中で施策の達成状況を検証、評価できる仕組みが必要である。 同時に、振興計画の中では、これらの検証が可視化・見える化していくことが重要である。	上妻毅 離島過疎地域振興部会副会長
25	沖縄県のリーディング産業として挙げられている、情報通信関連産業、臨空・臨港型産業、海洋関連産業について、今後10年の展開、目標をどのように考えているのか。	安里哲好 福祉保健部会長
26	いろいろな分野での人材育成について、教育現場から教育委員会の意見を入れるなり、現場とつなげた職業案内や目標を持った学びを小学校・中学校を通して行っていただきたい。	米須敦子委員
27	10月22日開催の令和3年度第2回正副部会長会議にて、素案本文に重複箇所が多いことや全体的に文章が長いと、文章のバランスを整理・検討していただきたい。	大城郁寛 総合部会長 (正副部会長会議意見として)

# 沖縄県振興審議会の審議状況

令和3年10月29日

# 1 沖縄県振興審議会の開催状況

会議名称	開催日	会議内容
第70回沖縄県振興審議会	R3.6.9	1 新たな振興計画(素案)の諮問
		2 今後の調査審議の進め方について
		3 自由討議
第1回正副部会長合同会議	R3.6.9	1 沖縄県振興審議会部会における調査審議方針(案)について
		2 自由討議

会議名称	開催日	会議内容
第2回正副部会長合同会議	R3.10.22	1 各部会審議結果(中間取りまとめ)について
		2 新たな振興計画(素案)に対する審議経過について
		3 自由討議

## 2 部会の所掌事務

部 会 名	所 掌 事 務
総合部会	基本方針、経済社会、財政、土地利用、米軍基地問題、跡地利用、県民生活等に関すること
産業振興部会	情報通信関連産業、商工業、科学技術、産業人材育成（他部会の所掌に属するものを除く。）、雇用、エネルギー等に関すること
文化観光スポーツ部会	観光・リゾート産業、文化、スポーツ、交流等に関すること
農林水産業振興部会	農林水産業等に関すること
離島過疎地域振興部会	離島過疎地域の振興、定住条件の整備等に関すること
環境部会	公害防止、廃棄物対策、環境保全、自然景観の保全等に関すること
福祉保健部会	社会福祉、保健衛生、医療、安全・安心等に関すること
学術・人づくり部会	教育・人材育成、歴史、学術等に関すること
基盤整備部会	県土構造、都市整備、交通体系（基盤・ネットワーク・コスト）、情報通信体系（基盤・ネットワーク・コスト）、水資源、災害、景観形成・風景づくり等に関すること

### 3 沖縄県振興審議会 部会審議の途中経過 ①

#### 総合部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.20	第1章 総説 第2章 基本的課題 第3章 基本方向(展望値除く) 第4章 基本施策 2-(5) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現
第2回 R3.8.10	第4章 基本施策 2-(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり 4-(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(3) 広大な海域の保全・活用
第3回 R3.8.24	第4章 基本施策 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(1) 基地問題の解決 1-(2) 駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編 2-(2) 跡地利用推進法の活用による円滑な跡地利用の推進 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開
第4回 R3.9.7	第3章 基本方向 4 計画の展望値 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 2 固有課題克服のための行財政システムの強化・拡充及び政策金融の活用 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開 第7章 計画の効果的な推進 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.10.15	審議結果中間取りまとめ 第3章 基本方向 4 計画の展望値

#### 産業振興部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.15	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(3) リゾテック沖縄の推進による情報通信関連産業の高度化・高付加価値化 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第2回 R3.8.3	第4章 基本施策 3-(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積 3-(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興 3-(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.19	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(3) 持続可能な海洋共生社会の構築 3-(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.3	審議結果中間取りまとめ

### 3 沖縄県振興審議会 部会審議の途中経過 ②

#### 文化観光スポーツ部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.19	第4章 基本施策 1-(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展 1-(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第2回 R3.8.6	第4章 基本施策 3-(9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成 4-(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.23	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.2	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ

#### 農林水産業振興部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.15	1 総点検報告書等での課題 2 新たな振興計画(素案)の構成と農林水産業振興施策の骨子 3 関連体系図の概要
第2回 R3.7.29	第4章 基本施策 3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化 3-(7)-イ 県産農林水産物の安全と消費者信頼の確保 3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化 3-(1)-ウ③ 食品関連産業と農林水産業の連携
第3回 R3.8.17	第4章 基本施策 5-(5)-イ② 農林水産業を支える多様な担い手の育成・確保 3-(7)-エ 担い手の経営力強化 4-(3)-ア③ 農林水産分野における国際協力の推進 3-(7)-オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進 1-(3)-ア④ 赤土等流出防止に向けた総合対策 3-(7)-カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備
第4回 R3.9.9	第4章 基本施策 3-(7)-キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興 3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(3) 広大な海域の保全・活用 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ

### 3 沖縄県振興審議会 部会審議の途中経過 ③

#### 離島過疎地域振興部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.30	第1章 総説 第2章 基本的課題 第3章 基本方向 関連体系図(案)
第2回 R3.8.17	第4章 基本施策 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案)
第3回 R3.9.1	第4章 基本施策 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案)
第4回 R3.9.13	第4章 基本施策 離島過疎地域に関わる箇所全般 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案) 審議結果中間取りまとめ

#### 環境部会

開催日	調査審議内容
第1回・第2回 R3.8.13	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 ※7.21の第1回が台風で開催できなかったため、第1回・第2回として開催
第3回 R3.8.26	第4章 基本施策 1-(3) 持続可能な海洋共生社会の構築 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出
第4回 R3.9.7	第4章 基本施策 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ

#### 福祉保健部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.14	第4章 基本施策 福祉保健分野の総括説明
第2回 R3.8.6	第4章 基本施策 2-(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進 2-(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり 2-(4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保
第3回 R3.9.9	第4章 基本施策 2-(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 3-(9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ

### 3 沖縄県振興審議会 部会審議の途中経過 ④

#### 学術・人づくり部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.29	第4章 基本施策 5-(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり 5-(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり など
第2回 R3.8.12	第4章 基本施策 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.26	第4章 基本施策 5-(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり 1-(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展 など 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.6	審議結果中間取りまとめ

7月から10月までの間に、  
9部会で合計34回の部会を開催

#### 基盤整備部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.29	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用 1-(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成 2-(4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実 2-(6) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 2-(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(3) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開
第2回 R3.8.27	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 美ら島交通ネットワークの構築 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開 関連体系図(案)(成果指標)について
第3回 R3.9.9	関連体系図(案)(成果指標)について これまでの意見に対する県の対応方針(案)について 審議結果中間取りまとめ

## 4 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見①

### 総合部会

1	「沖縄経済の重要課題」の部分について、元々ある地場産業の低迷や衰退に対してどう取り組むのかがあまり書かれていないため、生産性の高い産業のみならず地場産業においても、先端技術の活用などの新しい動きの中にしっかりと取り込んでいくことを記載してはどうか。
2	離島における性犯罪被害者支援がまだ十分ではないため、離島における被害者への支援充実を追記してはどうか。
3	米軍人・軍属等による事件・事故の防止策のみではなく、事件・事故があった際の被害者や遺族に対する十分な補償についても記載すべきではないか。
4	跡地利用についても基地問題から派生している問題であることから戦後処理の1つと捉え、第4章の基本施策に盛り込んでどうか。
5	沖縄振興開発金融公庫の存在は非常に重要なため、新型コロナウイルス感染症対策に係る融資等の金融支援の役割について追加し、強調した記載にしてはどうか。

### 産業振興部会

1	情報技術関連について、各分野の情報技術という取扱だけでなく、沖縄の産業のDXを目指す広い視座、振興計画を幅広く俯瞰し、「ResorTech Okinawa構想」をまとめて沖縄のデジタル化戦略の要素を素案へ落とし込むことができないか。
2	クリーンエネルギーの導入拡大は、民間事業者だけでなく県民総ぐるみで取り組み、地産地消化を推進する視点が重要である。また、併せて電力系統安定化の技術開発が必要不可欠である。
3	女性活躍の推進も含めて稼ぐ力の強化の視点として挙げているにも関わらず、内容に含まれていない。「稼ぐ力」での女性活躍とは、より女性の視点での企画・マーケティング・販促といった要素において積極的に女性を登用することだと感じる。そうした観点で「稼ぐ力」の発揮に向けて、積極的な女性の登用といった趣旨での表現にしてはどうか。
4	本県では、いい技術があってもそれを知的財産にして実施許諾、ライセンスを取得するところが弱い。これを実現するためには技術移転機関機能をもっと充実させる必要がある。
5	データサイエンティストは企業にとって必要不可欠なため、例えば琉球大学で誰でも参加できるオンライン教育プログラムをつくり、データサイエンティストの育成を行ってはどうか。

## 4 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見②

### 文化観光スポーツ部会

1	伝統芸能について、県民が独自の文化に誇りを持ち、継承していくためには、それら文化・芸術に県民が触れる機会を増やすだけでなく、県外や海外からの評価を得るような視点・施策が必要ではないか。
2	観光産業は、沖縄経済を牽引するリーディング産業であり、観光庁のガイドラインを活用するにとどめるのではなく、本県独自の「ガイドライン」を策定する必要がある。
3	MICEについては、経済効果だけでなく、教育的効果や地域活性化に繋がるなど幅広い効果を明記していただきたい。
4	空手ツーリズムについて、実際に空手を実践している「空手家」のみをターゲットにするのではなく、空手を今まで体験したことのない人にも体験してもらうなど、初心者の裾野を広げるための空手体験ツーリズムのあり方も必要である。
5	スポーツアイランド沖縄について、スポーツを通じ「世界へ貢献」という視点も含めた活用が必要である。

### 農林水産業振興部会

1	沖縄県の高湿多湿な気候は生鮮農産物の流通面で問題があるため、卸売市場のクールチェーン化が必要である。
2	本県は台風常襲地帯という特殊事情があるため、台風等の気象災害に強い園芸施設等の整備及び補強・改修の支援を記載するべきではないか。
3	国において「みどりの食料システム戦略」が策定されるなど、脱炭素化等の実現に向けた農林水産分野の貢献が期待されていることから、化学農薬等の使用低減に取り組むエコファーマーや有機農業に取り組む農家への支援など、同戦略を踏まえた方向性を示す必要があるのではないか。
4	農業の担い手について、株式会社や法人の参入をもっと幅広く記載していいのではないか。実際、会社経営の一環として農業の分野に参入してくる企業は今後増える見込みであり、貴重な担い手としてもっと捉えるべきではないか。
5	沖縄島北部地域の世界自然遺産登録により、北部地域の森林は、生態系を保全していく上で重要な役割をより一層有することになった。北部地域で持続可能な森林施業を行うためには、機能に応じたゾーニングというものをもっと県民に説明していく必要があり、その重要性をしっかりと素案に記載してもらいたい。

## 4 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見③

### 離島過疎地域振興部会

1	第5章の克服すべき沖縄の固有課題の離島部分の記述に「課題解決先進地」としての意義を追記してはどうか。
2	離島を核とする関係人口の創出は、離島過疎地域の持続可能な地域づくりということを前提に取組を打ち出すべきではないか。
3	離島の定住条件整備、条件不利性の克服については、交通を含め、新技術の導入と活用を明確に位置づけていただきたい。
4	デジタル技術等を活用したスマート農林水産業について、生産基盤の整備だけでなく、流通販売体制まで含めるべきではないか。
5	「地下水」についての沖縄県の方針をもっと踏み込んで明確にすべきではないか。

### 環境部会

1	2050年に向けて「脱炭素」という言葉が強く使われるようになっており、まずは低炭素というところも分かるが、やはり「脱炭素」を目指していくものであり、表現は「脱炭素」にすべきではないか。
2	藻場やサンゴ礁生態系の保全と再生に関して、県民や観光客への普及啓発に取り組むべきではないか。
3	世界自然遺産登録地における保全管理は専門的知識を必要とする分野であり、OISTや琉球大学等との共同管理も必要なのではないか。
4	廃棄物処理については、環境配慮を踏まえた処理に関する取組の優先順位を明確にすべきではないか。
5	環境・エネルギー分野における国際協力の推進の中で、循環型社会を構築するという要素を追記してはどうか。

## 4 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見④

### 福祉保健部会

1	沖縄県は、健康診断の有所見率が9年連続してワースト1となっており、現役世代の死亡率も高く、沖縄における生産性の低さの要因の一つともなっている。このため、職場における健康づくりの取組として、健康経営の促進を項目として追加してはどうか。
2	介護サービスの分野について、離島に特化した表現となっているが、県内全域で広域的に介護サービスの提供に取り組む必要があることから、離島地域に限定せず「県内全域」という内容に修正してはどうか。
3	医療提供体制を確立するため、離島・へき地の診療所で勤務する看護師の確保・定着に向けた「代替要員」の確保について追記してはどうか。
4	新興・再興感染症の施策において、現在課題となっている在宅での療養者の観察に関する内容を追記してはどうか。
5	令和3年5月に災害対策基本法の改正があり、福祉避難所や災害時要援護者の支援、避難計画に関する表現もその法律に合わせる必要がある。

### 学術・人づくり部会

1	確かな学力を身につける学校教育の充実について、小学校、中学校、高等学校、ほぼ似たような書き方になっている。学力に関して抱えている問題が異なるため、それぞれで抱えている課題が大きく違うという視点で書いたほうがいいのではないか。
2	学力やキャリア教育は沖縄の重点的な課題だと思う。沖縄の課題や課題の分析に合わせた指標にしなければどんなに施策を書いても、その指標を目指すことになるので、指標を改めて設定するなど検討してほしい。
3	全体的に見ると小中と高校と高等教育というところが少し分断されているような形で見えてしまう。今後この接続というところは非常に重要になってくると思うので、接続の視点でもう少し入れ込む必要があるのではないか。
4	県外に進学させることで進学率を上げたいというのが今回の素案に記載されているが、県内の学生が県内で学びたいというのは沖縄の高校生の志向はとても強いので、そういったところを支援するのは非常に重要ではないかと思う。
5	地域連携プラットフォームを考えようという提案は非常に評価したい。離島のサテライトなどについても一緒になってやれば充実することができると思う。また、どうすればカレント教育を進めることができるかという面でも、このプラットフォームが役に立つと思う。

## 4 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見⑤

### 基盤整備部会

1	脱炭素化に配慮した空港・港湾の高度化という表現があるが、具体的な内容を記載する必要がある。
2	本土復帰後、集中的に整備された社会基盤の経年劣化や塩害による急速な劣化の進行など、適切な維持管理や補修の実施が重要となっている。そのため維持管理を担う技術者の育成確保を促進する必要がある。
3	AIやディープラーニングについては、デジタル化されたデータが必要であり、計画に、何をモニタリングするか、何を計測するかということを表現する必要がある。
4	新たな技術開発については、産学官連携のもとで取り組むこととなっており、それぞれの役割や具体的な進め方を記載してほしい。
5	近年の自然災害の激甚化などを踏まえると、特に離島等における社会インフラの強靱化が求められる。通信においては、特に離島の重要拠点である役場や空港、港、診療所等で不具合が発生した場合の生活基盤に与える影響が非常に大きいことや、離島で復旧に相当時間を要することを踏まえた表現などへ変更してはどうか。